

## I 事業の実施状況

公益財団法人河内長野市勤労者福祉サービスセンターは、中小企業で働く方々の福利厚生事業を実施しました。会員事業所の皆様方はもとより、市及び商工会など関係機関の協力・連携のもと、中小企業と大企業との福利厚生の規模間格差の更正をめざし、勤労者福祉の向上と地域経済の振興・発展に寄与してまいりました。

平成27年度におきましては、当サービスセンターが安定した経営をするために、会員拡大は、重要な課題となっており、より一層取り組みました。また、中小企業に従事する勤労者の多様なニーズに応えながら、福利厚生事業の充実と働きやすい職場環境づくりを支援し、市内における勤労者福祉の拠点となるよう、「会員サービスの向上」「効率的・効果的な運営」が図られる組織体制の構築にも取り組みました。

## II 会員拡大の取り組み

### 1. 会員の状況

#### (1) 年度別状況表

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
入会者数	128人	60人	64人
退会者数	112人	57人	67人
増減	16人	3人	-3人
年度末会員数	872人	875人	872人
年度末事業所数	205事業所	209事業所	205事業所

#### (2) 平成27年度月別入退会状況表

	入会		退会		累計	
	事業所数	会員数	事業所数	会員数	事業所数	会員数
27年 4月	2	27人	0	21人	211	881人
5月	0	3人	0	3人	211	881人
6月	0	3人	0	5人	211	879人
7月	0	1人	2	8人	209	872人
8月	1	6人	0	0人	210	878人
9月	0	2人	0	4人	210	876人
10月	0	4人	0	3人	210	877人
11月	0	3人	1	3人	209	877人
12月	0	1人	0	5人	209	873人
28年 1月	0	0人	3	8人	206	865人
2月	0	5人	2	4人	204	866人
3月	2	9人	1	3人	205	872人
合計	5	64人	9	67人		

## 2. 広報活動

市内中小企業及び勤労者市民に対して、当サービスセンター事業の趣旨及び事業内容等について、広報活動を行った。

### (1) ラークニュースの発行

事業内容等の案内・斡旋等掲載の充実を図り、全ての会員に対し発送した。

発行部数として、年間12,000部を発行した。

### (2) 河内長野市商工会との連携

商工会会員あての郵送物に当サービスセンター入会案内を同封、経営指導員による巡回・窓口指導・確定申告時（平成28年2月12日～3月15日）の際に入会案内を行うことで会員増強に努めた。

## Ⅲ 中小企業勤労者等の福利厚生事業

### 1. 慶弔給付事業 【事業費 9,601,712円】

#### (1) (一社) 全国中小企業勤労者福祉サービスセンターの全福ネット慶弔給付事業加入 (加入費 4,063,500円)

中小企業単独では実施が難しい福利厚生事業について、低コストで充実した慶弔給付事業を実施できる(一社)全国中小企業勤労者福祉サービスセンターの全福ネット慶弔給付事業に加入した。

#### (2) 全福ネット慶弔給付事業 (給付金額 3,215,000円)

会員を対象に、(一社)全国中小企業勤労者福祉サービスセンターの全福ネット慶弔給付を活用し、各種祝金・弔慰金・見舞金(収益事業等は※3種類)の給付を行った。

給付項目	給付事由	金額(円)	件数(件)
結婚祝金 ※	会員が結婚したとき	20,000	3
結婚記念祝金 ※	銀婚祝(25周年)	10,000	6
	珊瑚婚祝(35周年)	20,000	3
	金婚祝(50周年)	30,000	3
子の出生祝金 ※	会員又は会員の配偶者が出産したとき	10,000	13
子の就学祝金	子の小学校入学	10,000	22
	子の中学校入学	10,000	33
傷病休業見舞金	休業14日以上30日未満	10,000	6
	休業30日以上60日未満	20,000	12
重度障害見舞金	会員の重度障害(65歳未満)	100,000	0
	会員の重度障害(65歳以上)	50,000	0
死亡弔慰金	会員の死亡(71歳未満)	100,000	2
	会員の死亡(71歳以上)	50,000	1
	配偶者死亡	50,000	0
	子死亡	30,000	0
	親死亡	10,000	16

勤続祝金	勤続10年	10,000	27
	勤続20年	20,000	19
	勤続30年	20,000	17
	勤続40年	30,000	6
退会餞別金	在会5年以上	5,000	11
	在会10年以上	15,000	22
		合計	222

(3) 平成20年度以前の旧慶弔給付事業（平成24年度制度改正に伴う経過措置）

（給付金額 2,253,296円）

給付項目	給付事由	金額（円）	件数（件）
退会餞別金	在会3年以上	記念品	4
	在会10年以上	20,000	7
	在会15年以上	100,000	7
	在会20年以上	200,000	7
		合計	25

(4) 平成21年度以降の新慶弔給付事業（平成24年度制度改正に伴う経過措置）

（給付金額 69,916円）

給付項目	給付事由	金額（円）	件数（件）
退会餞別金	在会3年以上	記念品	9
	在会10年以上	20,000	2
	在会15年以上	30,000	0
	在会20年以上	50,000	0
	在会25年以上	70,000	0
	在会30年以上	100,000	0
		合計	11

2. 老後生活安定事業

独立行政法人勤労者退職金共済機構と連携し、中小企業に働く従業員の老後生活の安定を図ることを目的とした退職金制度「中小企業退職金共済」等の案内・加入斡旋を行った。

3. 余暇活動事業 【事業費 7,213,011円】

(1) レクリエーション事業（事業費 5,018,533円）

会員相互の親睦や会員及びその家族とのふれあいを深めるため、映画・コンサート・スポーツ等のレクリエーション行事を行った。

① 文化鑑賞事業

ラブラリーホールやチケットぴあ等を通じて、コンサート・スポーツ観戦・映画・美術館等、鑑賞券の一部補助を行った。

内 容	利用者数
チケットぴあ入場券斡旋（コンサート・スポーツ）	33人
映画鑑賞券斡旋	552人
美術館等鑑賞券斡旋	184人
観劇事業（ラプリーホール・すばるホール等）	18人
4事業合計	787人

② レジャー施設利用助成事業

レジャー施設と法人契約・利用契約を結び、会員等の余暇活動の充実を図り、会員と家族には、一部利用補助を行った。

内 容	利用者数
東京ディズニーリゾート	15人
長島スパランド	63人
伊勢志摩スペイン村	9人
海遊館	63人
みさき公園	92人
ハーベストの丘	18人
臨海スポーツセンターアイススケート利用券斡旋	18人
関西サイクルスポーツセンター	5人
8事業合計	283人

③ その他利用事業

チケット等の一部利用補助を行った。

内 容	利用者数
スルッと KANSAI 利用券斡旋	400人
QUO カード利用券斡旋	150人
ジェフグルメカード斡旋	180人
風の湯利用券斡旋	770人
トイカード斡旋	80人
ミスタードーナツ利用券斡旋	30人
マックカード斡旋	300人
都をどり利用券斡旋	2人
8事業合計	1,912人

(2) 大阪府内互助会・サービスセンター共同事業（事業費 2,194,478円）

個々の互助会・サービスセンター単独では予算的・人力的に実施が困難な事業や既存事業の更なる拡充を図るため、大阪府内21団体により設立された「大阪地区勤労者福祉事業拡充委員会」（愛称：おおきにnet）に参画し、大阪府内で広域的な展開が見込めるサービス事業を実施した。

- ① おおきにnet参画団体が個別に契約しているサービス等を各団体の会員が相互に共同利用できるようネットワークを構築した。割引共同利用店舗網のサービスの拡充を図った。

- ② バスツアー・釣り大会・婚活パーティなど多様な会員ニーズに応じたイベント事業を企画し共同開催した。

内 容	利用者数
二色の浜潮干狩り利用券斡旋	19人
ひらかたパーク入園券斡旋	9人
釣り大会（実施日6月14日）参加人数148人	4人
婚活パーティ（実施日12月12日）参加人数68人	3人
大相撲 泉佐野場所	2人
5事業合計	37人

- ③ 泉州地域（堺市・高石市・岸和田市・貝塚市・泉佐野市）・河内地域（藤井寺市・河内長野市）の7市による連絡会議を実施し、南大阪地域に密着した情報の共有化と共同事業を行った。

内 容	利用者数
蓬莱豚まん体験（実施日8月30日）参加人数45人	8人
阪神 対 オリックス 戦	4人
なんばグランド花月斡旋	44人
楓林閣 ビアガーデン斡旋	36人
阪急ホテル オリミアン バイキング斡旋	135人
スイスホテル バイキング斡旋	24人
6事業合計	251人

#### 4. 健康管理事業 【事業費 212,800円】

（一財）大阪労働協会と連携し、会員の健康維持増進を図るため、人間ドック・生活習慣病予防検診の補助を行うとともに、会員制スポーツクラブ等健康増進施設の利用等、健康管理に関する事業を行った。

内 容	利用者数
人間ドック補助（35歳以上5,000円・3,000円補助）	30人
生活習慣病予防検診補助（35歳以上1,000円補助）	15人
スポーツクラブ利用券補助	60人
3事業合計	105人

#### 5. 宿泊補助事業 【事業費 378,500円】

大手旅行会社・全国のホテル・旅館等と宿泊利用契約を結び、一部利用補助（会員3,000円年間1泊）を行い、会員等の余暇活動の充実を図った。

また、（一財）大阪労働協会の福利厚生事業に加入し、契約宿泊施設の宿泊料金の一部補助を実施した。

内 容	利用者数
宿泊補助（年度内1回 会員3,000円補助）	125人
河内長野荘 利用補助	3人
2事業合計	128人

6. 自己啓発事業 【事業費 243,750円】

(1) 勤労者のスキルアップ事業

年金講座などの講習会開催を他の互助会等と企画し、参加費の一部補助も行い、勤労者の職業能力向上を図った。

内 容	実施日
ビジネスマナー教室 参加人数19人	6月2日
決算書と財務諸表分析「基本」セミナー 参加人数32人	10月27日

(2) その他事業 (事業費 243,750円)

図書カードを会員に一部利用補助を行い、一般より安価な価格で斡旋した。

内 容	利用者数
図書カードの斡旋	250人

IV. 理事会・評議員会の開催状況

1. 理事会

会議名	案 件
第1回理事会	議案第1号 平成26年度事業報告について 議案第2号 平成26年度収支決算報告について 議案第3号 定時評議員会の開催について
決議省略提案	議案第4号 理事長等の選任について
第2回理事会	議案第5号 平成28年度事業計画について 議案第6号 平成28年度予算について 議案第7号 資金調達及び設備投資の見込みについて

2. 評議員会

会議名	案 件
定時評議員会	議案第1号 平成26年度事業報告について 議案第2号 平成26年度収支決算報告について 議案第3号 理事及び監事の選任について